

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科：芸術 科目：書道Ⅱ 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 2 学年 書道選択者  
 教科担当者：田村 歩美  
 使用教科書：（書道Ⅱ 教育出版）

教科 芸術 の目標：  
 【知識及び技能】楷・行書（篆・隸・草書、仮名）作品についての知識を理解し、執筆法を身につける。  
 【思考力、判断力、表現力等】古典作品から得た知識、技能をさらに深め、工夫しながら臨書、創作活動をし、創作作品を制作する。  
 【学びに向かう力、人間性等】活動前に課題について確認し、作品を完成させる。臨書や創作活動に主体的に取り組むようにする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
漢字、仮名、仮名交じりの書の作品を通して歴史的背景など知識を理解し、作品の技法考察から執筆法を身につける。	古典作品から得た知識、技能をさらに深め、工夫しながら臨書、創作活動をし、創作作品を制作する。	活動前に課題について確認し、作品を完成させる。臨書や創作活動に主体的に取り組むようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	古典作品を通して楷書作品の特徴を理解し、技法の習得とともに、作品を制作する。	基本的な楷書作品から特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品を完成させる。					古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	
	篆書の臨書 「石鼓文」 隸書の臨書 「乙瑛碑」 篆書と隸書で作品を書く	篆書の臨書 「石鼓文」 隸書の臨書 「乙瑛碑」 篆書と隸書で作品を書く					古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	
	篆書の臨書 「石鼓文」 隸書の臨書 「乙瑛碑」 篆書と隸書で作品を書く	篆書の臨書 「石鼓文」 隸書の臨書 「乙瑛碑」 篆書と隸書で作品を書く					古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	
	篆書の臨書 「石鼓文」 隸書の臨書 「乙瑛碑」 篆書と隸書で作品を書く	篆書の臨書 「石鼓文」 隸書の臨書 「乙瑛碑」 篆書と隸書で作品を書く					古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	
2 学 期	仮名の書の臨書 「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」 「本阿弥切本古今和歌集」	仮名の書の臨書 「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」 「本阿弥切本古今和歌集」					古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	
	仮名の書の臨書 「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」 「本阿弥切本古今和歌集」	仮名の書の臨書 「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」 「本阿弥切本古今和歌集」					古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	
3 学 期	篆刻、刻字に親しむ 印の多彩な表現を楽しむ 姓名印を刻む	さまざまな漢字仮名交じり作品を参考にし、特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品に取り組む。	○			○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	
	篆刻、刻字に親しむ 印の多彩な表現を楽しむ 姓名印を刻む	計画案を作成し、計画に従い創作作品を完成させる。	○	○	○		活動する前に確認した課題について克服し、作品の完成に結びつけているか。活動中の取り組み姿勢はどうだったか。	○	○	○	合 計 0